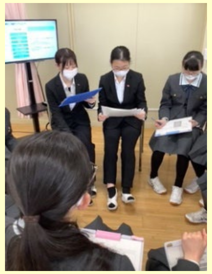
令和7年度　マイスター・ハイスクール普及促進事業
～魅力ある県立高校づくり推進事業について～

11月 第2土曜日
は
やまがた教育の日



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/

山形県教育局　高校教育課

令和7年度　山形県立産業系高等学校（13校）

⑩鶴岡工業（工業）
⑪加茂水産　（水産）
⑫庄内農業（農業）
⑬酒田光陵
（普通・工業・商業・情報）

画像：山形県ホームページより引用

①山形工業（工業）
②上山明新館
（普通・農業・商業）
③山辺
（食物・福祉・看護）
④寒河江工業（工業）
⑤村山産業
（農業・工業・商業）
⑥新庄神室産業
（農業・工業・商業）
⑦米沢鶴城
（工業・商業）
⑧置賜農業
（農業）
⑨長井工業
（工業）

令和７年度　マイスター・ハイスクール普及促進事業（連携体制強化型）

山形県魅力ある県立高校づくり推進事業「フューチャープロジェクト」

《申請者の現状》

山形県教育委員会では、令和５年度からの新規事業において、持続可能な地域社会の実現や、産業系高校教育の充実のため、自治体・産業界・大学等で構成する協議会（コンソーシアム）を産業系高等学校13校に設置し、地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や地域産業界との連携・協働による特色化・魅力化を図ることとした。（コンソーシアムの設置は、R7閉校の新庄南を除く。）

《実施内容》

本事業においては、産業系高等学校14校を拠点校に指定し、コンソーシアムの円滑な運営と地域産業界との連携強化を図るため、地域産学連携コーディネーターを派遣する。

拠点校における各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）の研修や産業現場における長期研修（インターンシップ）や地域産業界との連携を図る。（新庄南を拠点校に加える。）

《背景》

・中教審答申「新しい時代の高校教育の在り方」
・学校教育法施行規則改正(R4.4.1)
・山形県産業教育審議会答申(R4.10.26)

《課題》

・コンソーシアムにおける地域産業界との連携強化
・社会や各産業の変化に対応できる人材の育成
・山形の各産業の未来を担う人材の育成（県内定着）
・産業系高校の志願倍率の低下

県立産業系高校　産業教育連携協議会(コンソーシアム)

【大学・学校関係者】
・大学教授　・県立産業技術短期大学校教授等
・校長、同窓会、ＰＴＡ関係者等

【自治体】
・県、総合支庁担当課
・市、町教育委員会
・市、町担当部局長

【産業界】
・商工会議所・企業
・ＪＡ、農業経営者
・市町商工会等

＜産業教育連携協議会(コンソーシアム)事務局＞
事務局長：各校事務部長（教頭、事務長）
事務局員：市、町課員、市商工会、学科長等

【コンソーシアムの事業概要】
・各産業高校に自治体、産業界、大学等からなる協議会を設置
・各産業高校の魅力化・特色化に向けた地域連携事業や教育課程について、協議会において検討する。
・各産業高校において、小中学校との連携を強化し、各産業の担い手を目指す入学者増を図る。

拠点校：職業に関する学科を設置する全ての山形県立高校１４校

連携・支援

《目的》

○生徒が、地域や社会をフィールドとした学びの中で、技術の進展を肌で感じ、学校の学びを社会貢献に活かそうとする意欲を持つ職業人の育成
○外部人材の活用により、地域との連携・協働による探究型学習の推進
○地域産業の理解により、県内就職等地元定着や、大学等進学後の県内回帰

マイスター・ハイスクール普及促進事業

【山形県教育委員会】
・事業運営委員会（年２回）
・地域産学連携コーディネーターの配置（拠点校へ派遣）
・産業教育連携校会議及び研修会（シンポジウム）の開催
・成果報告書（デジタル版）発行

【拠点校(山形県立産業系高校14校)】
・次世代産業人材育成研修プログラム
①次世代分野（AI･IoT･UAV・ロボティクス）研修
拠点校において、次世代分野のスペシャリストによる授業・研修の実施
②次世代産業分野長期研修（インターンシップ）
産業現場における長期研修において、地域産業の次世代を担う人材の育成を図る。

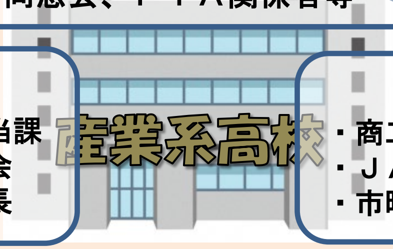
地域産学連携コーディネーターによる地域産業界とのマッチング

令和７年度　マイスター・ハイスクール普及促進事業（連携体制強化型）

山形県魅力ある県立高校づくり推進事業「フューチャープロジェクト」

県立産業系高校 産業教育連携協議会(コンソーシアム)

【大学・学校関係者】
・大学教授　・県立産業技術短期大学校教授等
・校長、同窓会、ＰＴＡ関係者等



【自治体】
・県、総合支庁担当課
・市、町教育委員会
・市、町担当部局長

【産業界】
・商工会議所・企業
・ＪＡ、農業経営者
・市町商工会等

＜産業教育連携協議会(コンソーシアム)事務局＞
事務局長：各校事務部長（教頭、事務長）
事務局員：市、町各課員、市商工会、学科長等

【コンソーシアムの事業概要】
・各産業高校に自治体、産業界、大学等からなる協議会を設置
・自治体・企業等と連携した共同研究等の実施
・小中学校との連携を強化し、各産業の担い手を目指す入学者増を図る。

拠点校：職業に関する学科を設置する全ての山形県立高校

連携・支援

令和7年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業

【山形県教育委員会】
・事業運営委員会（年２回）
・地域産学連携コーディネーターの配置（拠点校へ派遣）
・産業教育連携シンポジウムの開催
・成果報告書（デジタル版）発行

【拠点校(山形県立産業系高校14校)】
・次世代産業人材育成研修プログラム
①次世代分野（AI･IoT･UAV)研修
拠点校において、次世代分野のスペシャリストによる授業・研修の実施
②次世代産業分野研修（インターンシップ）
産業現場における長期研修において、地域産業の次世代を担う人材の育成を図る。

地域産学連携コーディネーターによる地域産業界とのマッチング

１　山形県教育委員会の取組み

⑴　事業運営委員会

委員長：山形大学理学部教授　栗山　恭直　氏
（山形工業高校　連携協議会会長）
委　員：上山市副市長　鈴木　英夫　氏
（上山明新館高校　携協議会会長）
委　員：東北ハム株式会社代表取締役　帯谷　伸一　氏
（鶴岡工業高校　連携協議会会長）
委　員：県立産業技術短期大学校校長　佐藤　俊一　氏
（山形県産業教育審議会委員）
委　員：県立山形工業高等学校校長　安部　康典　氏
（山形県高校産業教育連盟会長）

⑵　地域連携産学コーディネーターの派遣

〇コーディネーターの役割
①産業教育連携協議会における地域と学校の連携促進に関連する指導・助言
②インターンシップ、地域連携に係るマッチング、巡回や企業への助言業務
③拠点校の学習成果発表会等における指導・助言
④外部との連絡調整、連携強化、大学や自治体、企業等の新たな連携先の開拓

山形県　地域産学連携コーディネーター

	所属・役職等	氏名	地域	概　要
	carriere×mikke！代表 キャリアカウンセラー 国家資格 キャリアコンサルタント キャリアコンサルティング技能士２級 山形大学非常勤講師 （キャリア形成論演習） 平成29年～ 令和4年 山形県産業教育審議会委員 令和4年～ 現在 山形県産業構造審議会委員 令和 5年～ 現在 山形県若年女性県内就職・定着促進協議会委員	あさの 浅野　えみ	村山 (内陸)	山形市出身、リクルートグループ入社後、子育てを機に山形へUターン。 大学・高校への就職支援や、働く「若者・女性」をメインにキャリア支援を行う。企業の教育顧問としても従事 人のキャリアに関わり24年。相談実績２万人以上。 セミナー実績１千回 ●専門（得意）分野 〇学生支援 ・就職セミナー・キャリアカウンセリング ・探究学習支援・キャリア教育 〇企業支援 〇経営者・管理職 ・伴走支援

	所属・役職等	氏名	地域	概　要
	合同会社 work life shift代表 山形県総合政策審議会委員 山形県若年女性県内就職定着促進協議会委員 鶴岡市総合計画審議会 産業専門委員 鶴岡中央高校学校評議員 鶴岡工業高校学校評議員	いとう　まいこ 伊藤　麻衣子 **※9月22日退任**	庄内	名古屋市出身、大手電機メーカーを経て鶴岡市へ移住。 学生のキャリア教育に関わりながら、インターンシップのコーディネーターとしても活動し、学生のサポートだけではなく、企業の組織開発や採用サポートなども行っている。 ●専門（得意）分野・実績 〇高校教育 ・インターンシッププログラム企画運営 〇自治体事業 ・鶴岡市：採用力アップセミナー 〇企業 ・インターンシッププログラム企画運営 〇個人 ・コーチング面談・起業支援 〇その他 ・大学生向け長期インターンシップ

	所属・役職等	氏名	地域	概　要
	株式会社山のむこう 代表取締役社長 山形県産業教育審議会委員	おおがき　たかひろ 大垣　敬寛	置賜 村山	横浜市出身、南陽市地域おこし協力隊として移住、探究教室ESTEM、カフェ等を経営 ●専門（得意）分野 〇企業との探究学習 ・カプセルトイを用いた商品企画販売 ・モンテディオとのマーケティング探究 〇その他探究学習 ・国際交流・映画制作・アスリート連携・地域の歴史・宇宙・科学など様々な専門家との探究の実施 〇ICT活用 ・端末の活用サポート ・学校の端末を活用したDX化サポート 〇その他 ・カフェ経営・アプリ開発

	所属・役職等	氏名	地域	概　要
	株式会社ローカル・インキュベート代表取締役 第７次山形県教育振興計画検討委員 村山産業高校学校運営協議会委員	すえなが　れお 末永　玲於	村山 最上	富山県出身、村山市で関係人口創出事業に携わり、大学在学中に起業 ●専門（得意）分野 ・起業支援 ・空き店舗/空き家活用 ・観光振興 ・関係人口創出 ・地域共創の拠点づくり ・デジタルシティプロモーション

⑶ 地域産学連携シンポジウムの開催

〇産業教育連携協議会による地域産業界との連携状況について情報交換や地域連携の先進県、先進校等の取組を学ぶ研修会を開催する。

⑷ 成果報告書（デジタル版）の発行

〇各校の取組も成果報告書にて記載し、事業成果について県内外に共有する。

２　各産業系高校の取組み

次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修

《農業分野》

農業用ドローンの圃場での実習等（上山明新館高校）

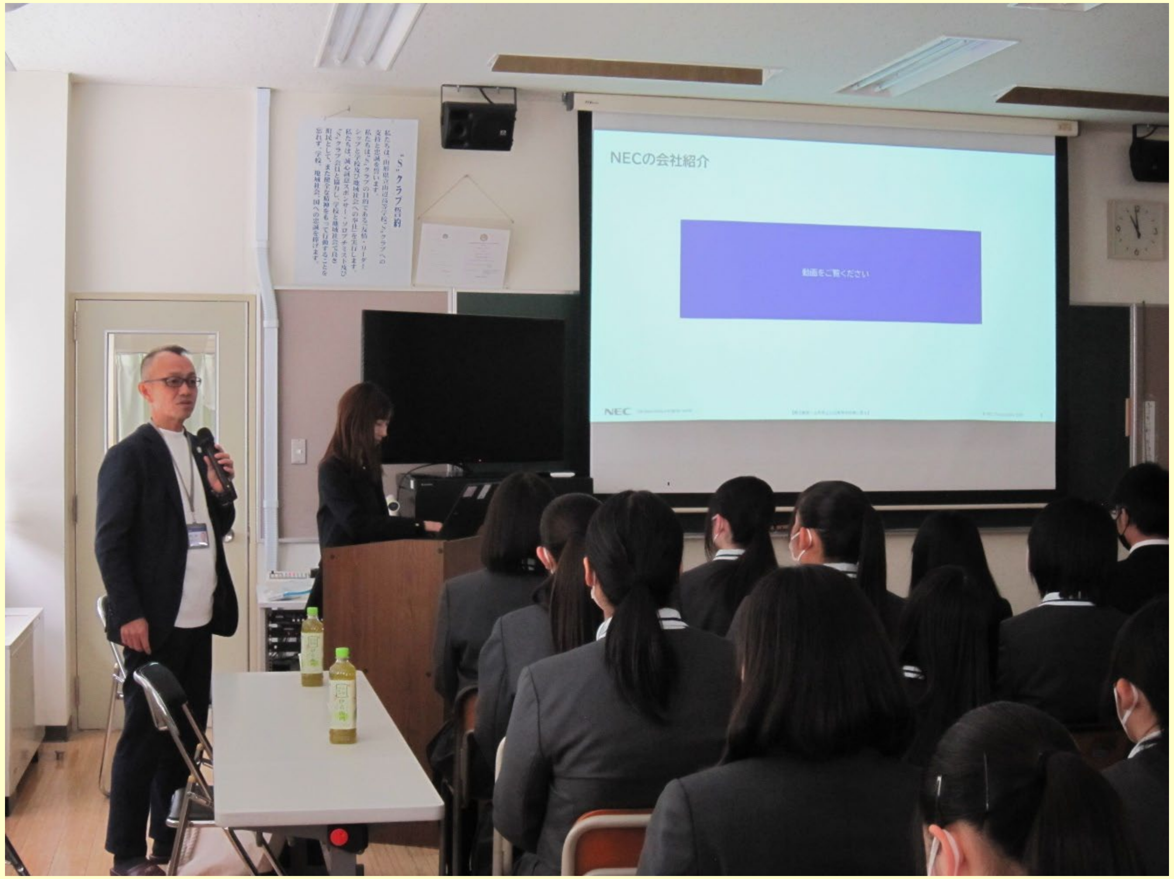
次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修

《工業分野》

測量用UAVの技術実習、大学教授による人工知能（AI）の学習等
（左：山形工業高校　右：寒河江工業高校）

次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修

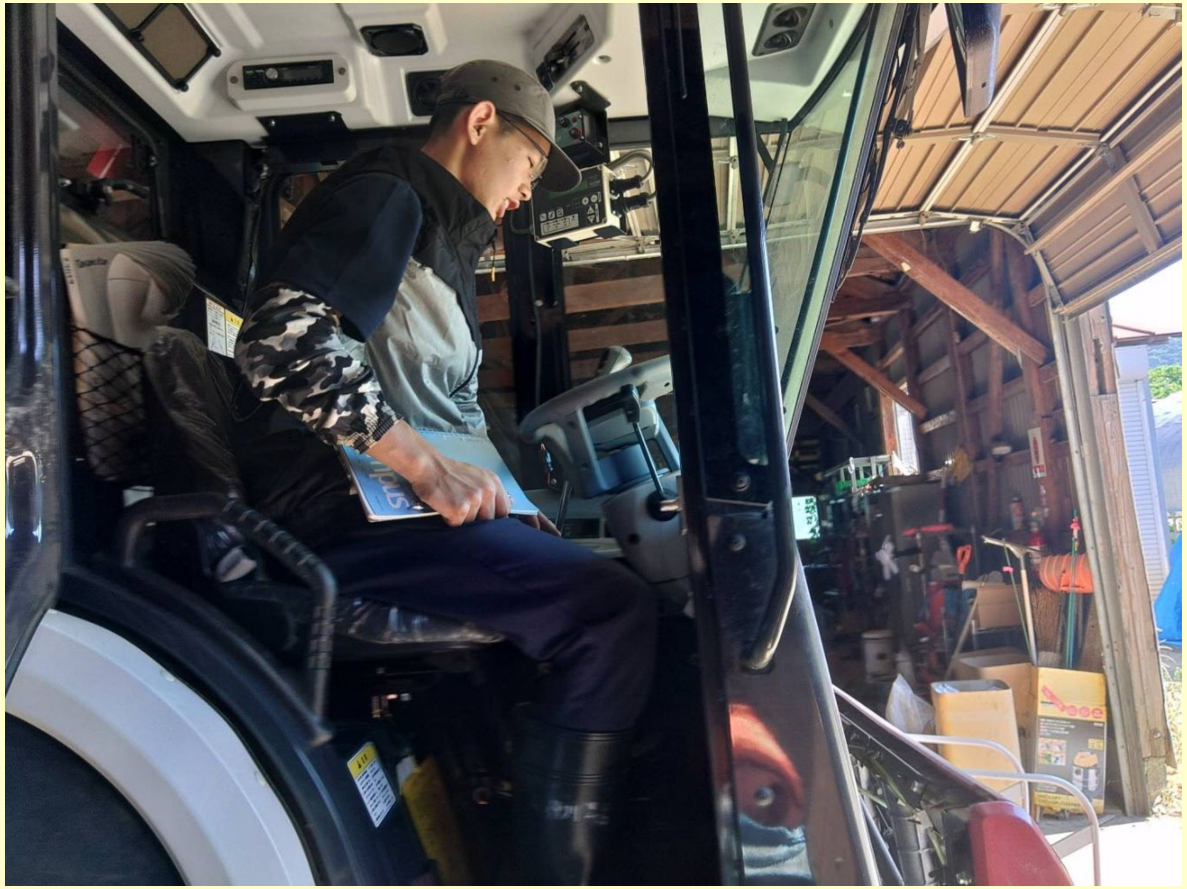
《看護分野》



地域の医療・看護の課題を解決していくために、生成AIをどのように活用するかを考えるワークショップ（山辺高校）

次世代分野産業現場実習（授業）・次世代分野長期インターンシップ

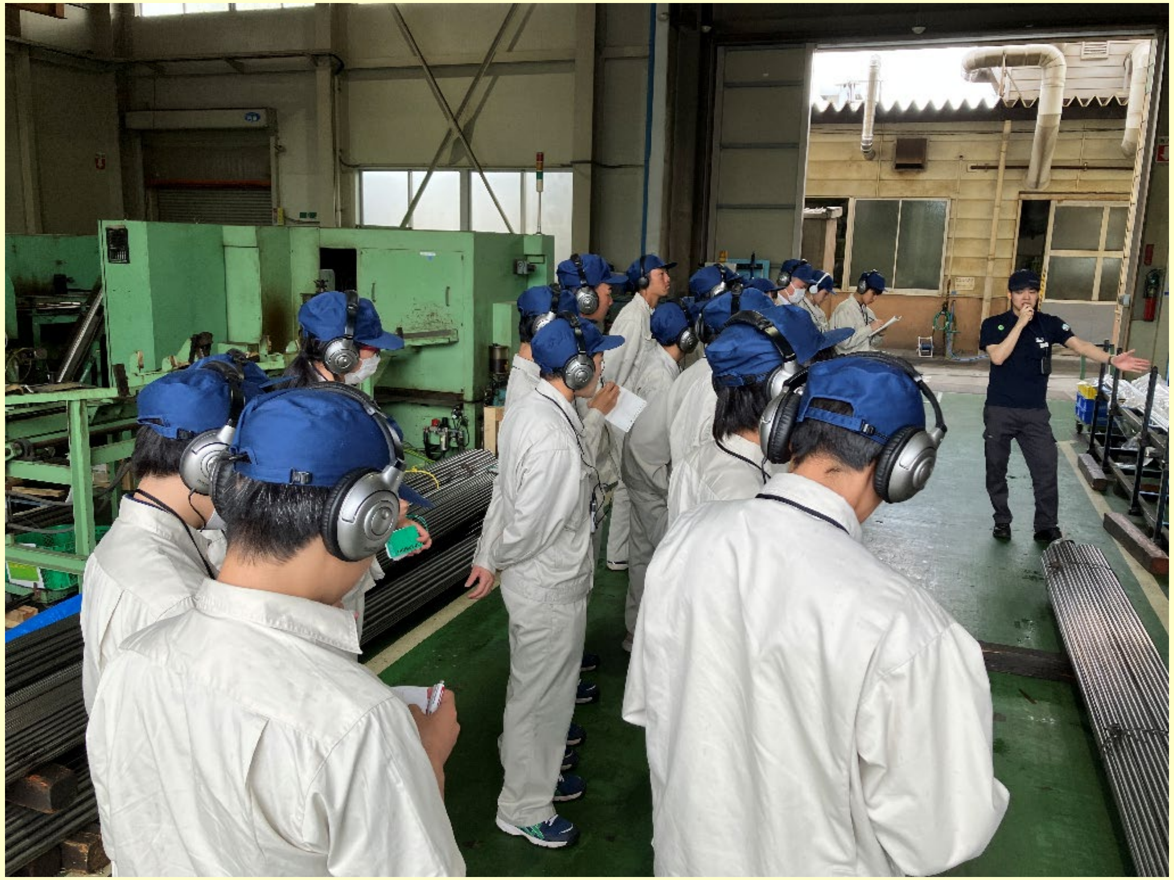
《農業分野》



東北農林専門職大学や山形大学農学部、食品製造工場や農場での体験講義、実習等
（左：庄内農業高校　右：新庄神室産業高校）

次世代分野産業現場実習(授業)・次世代分野長期インターンシップ

《工業分野》



製品の製造から検査、測定、改善会議までの企業活動の体験、地域企業の現場体験
（左：村山産業高校　右：寒河江工業高校）

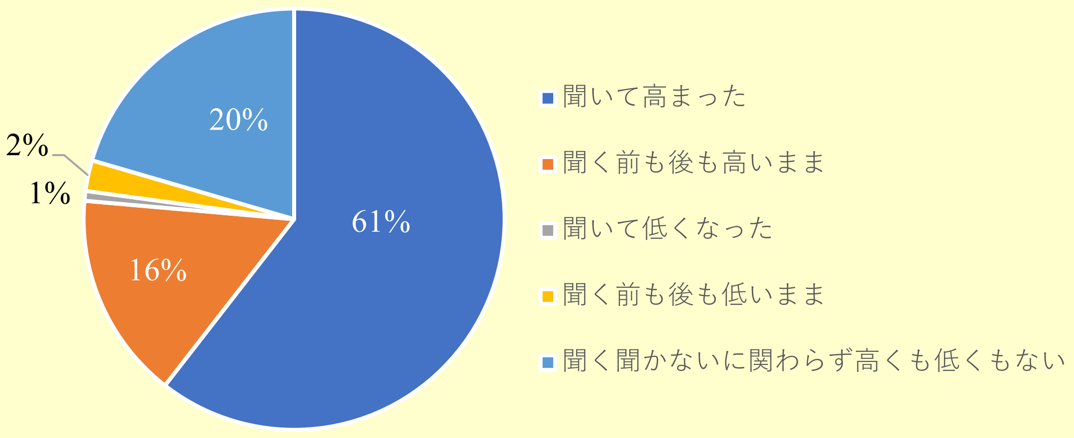
次世代分野産業現場実習（授業）・次世代分野長期インターンシップ

《商業分野》

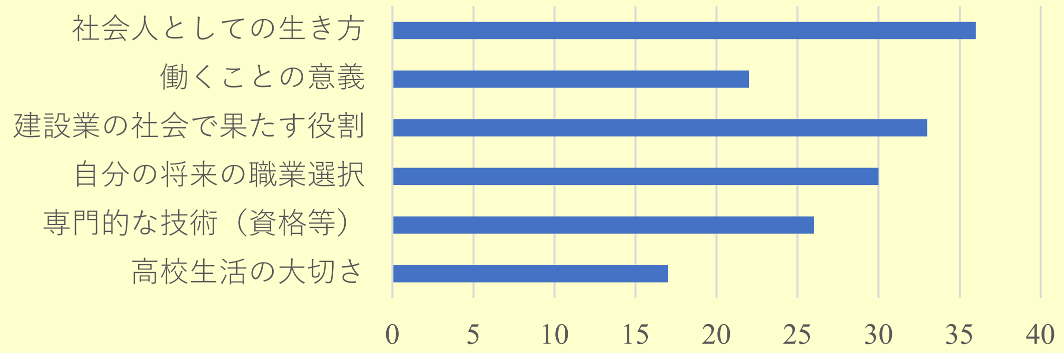
観光ビジネス体験学習、道の駅、地元企業での実習による地域魅力体験学習等
（左：新庄南高校　右：新庄神室産業高校）

3　次世代産業人材育成研修プログラム　生徒評価結果（12月現在）

AI・IoT・ドローン・ロボティクスへの興味・関心はどうなりましたか？



専門分野（建築・土木）の講話を聞いて学んだことを2つ挙げてください。



自由記述の一部

・失敗を恐れずに挑戦する
・AIやドローン等の技術は目覚ましく向上しており、将来的に重宝される技術である事を改めて学習した。またこのような分野に対する知識をつけ、その知識を活用し思考することは、幅広い機械の構造の理解に繋がると感じた。

評価分析

○次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）研修

令和6年度
生徒事後評価で「興味・関心」、「役割」、「必要性」に関して70～80%が「聞いて高まった」に変容した。

⇩

令和7年度
77%が興味・関心に対して「聞いて高まった」「高いまま」
昨年度に引き続き良好な状況

○次世代分野（建築・土木）研修

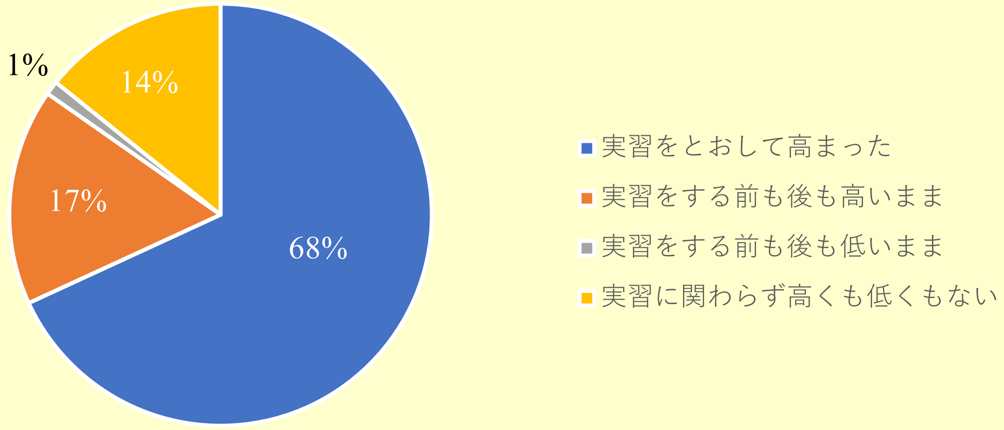
令和6年度
生徒事後評価で「興味・関心」、「役割」に関する70～80%が「聞いて高まった」に変容した。「聞く前も後も高いまま」と合わせると、90%以上となった。

⇩

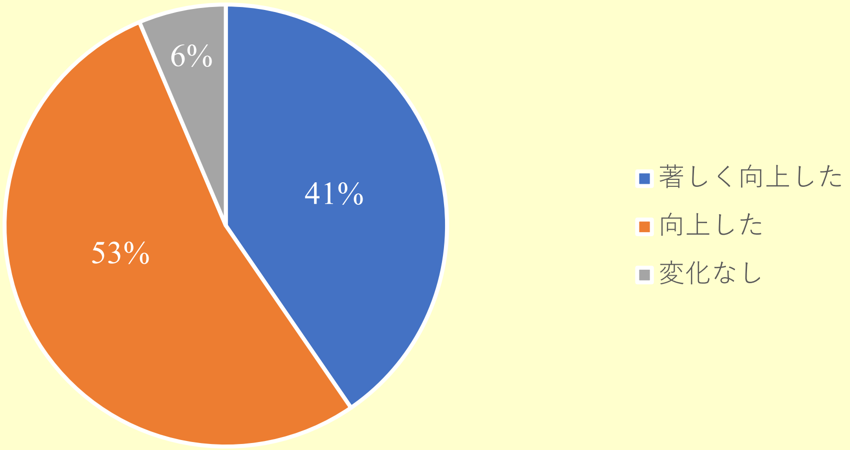
令和7年度
89%が「聞いて高まった」「高いまま」と、引き続き良好な状況

講話を聞いて、「社会人としての生き方」を学んだ生徒
令和6年度27.9%　→　令和7年度36%
将来のキャリアプランを具体化する効果

産業現場実習により、自分が所属する学科の専門分野に対する興味・関心はどうなりましたか



長期インターンシップでコミュニケーション能力や協調性は向上したと思いますか



評価分析

○産業現場実習

令和6年度
「興味・関心」「自学科の社会での役割の理解」に関して「実習をとおして高まった」と回答し、実習により70～80%が興味・関心を高めることができた。

令和7年度
85%が興味・関心に対して「聞いて高まった」「高いまま」
74.3%が低学年での実施 ⇒ 高い興味・関心のなか、意欲的に専門的な知識や技能を学ぶ

○長期インターンシップ

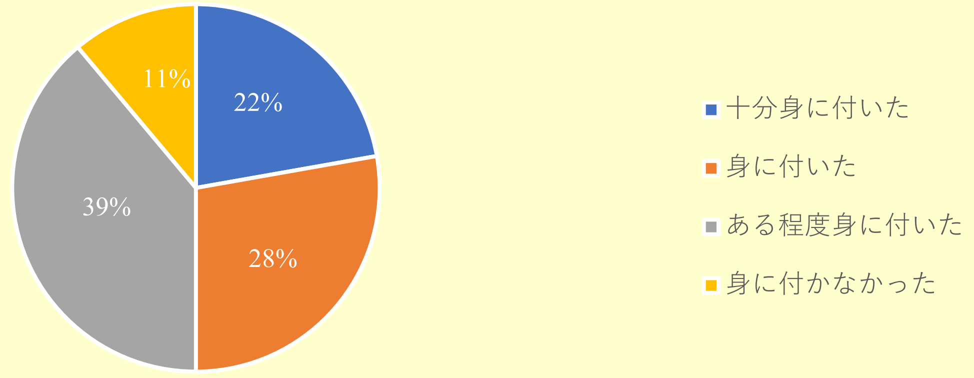
令和6年度
「キャリア設計に役立ったか」、「実践的な技能が身についたか」、「コミュニケーション能力や協調性が身についたか」、「社会人としてのルールが身についたか」でほぼ100%が身に付いた、高まったと回答。

令和7年度
91%～100%が「身についた」「向上した」と、引き続き良好な状況

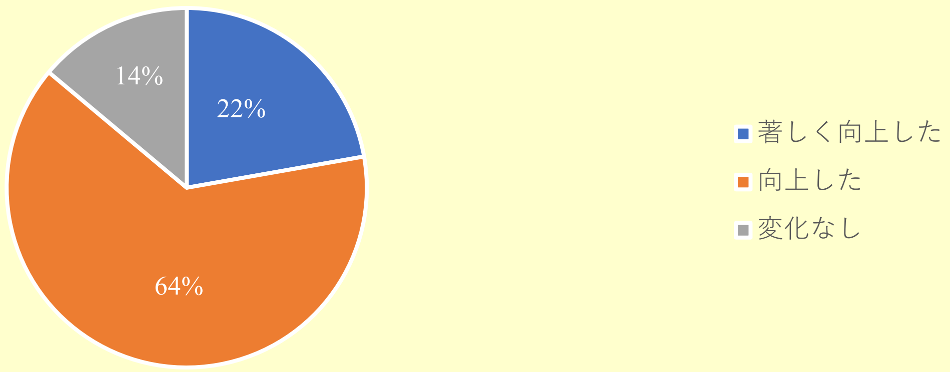
インターンシップの経験は将来設計やキャリア設計に役立ちましたか
100%が「役立った」と回答

４　次世代産業人材育成研修プログラム　産業界評価結果（12月現在）

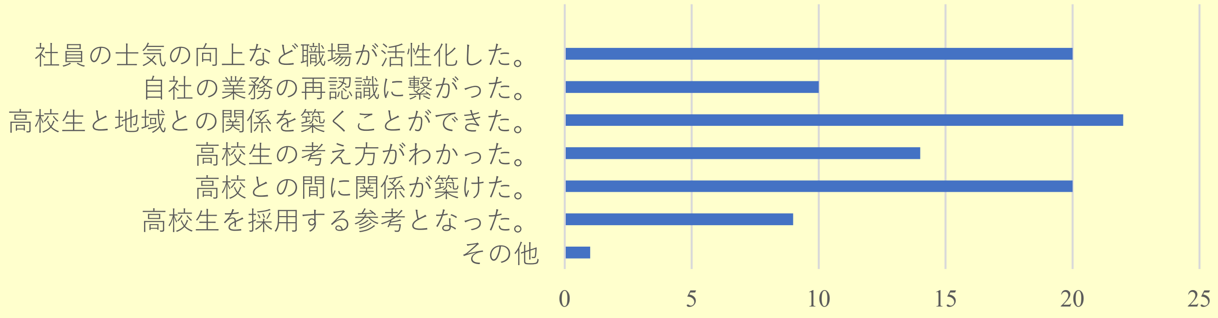
実習の前後で生徒は実践力ある高度な技術は身につけることはできましたか



実習の前後で生徒のコミュニケーション能力や協調性に向上が見られましたか



本事業への参加により御社にとってどのような利点がありましたか



評価分析

令和6年度

「実践的な技能が身についたか」、「コミュニケーション能力や協調性が身についたか」、「社会人としてのルールが身についたか」で90%が身についたと回答。

⇩

令和7年度

89%が高度な技術を「十分身についた」「身についたと」

86%がコミュニケーション能力が「著しく向上した」「向上した」

一方、11%「身につかなかった」

14%「変化なし」

⇒期間の短さや、職場体験中心になってしまった可能性

令和6年度

事業所側のメリットとして、「高校や高校生と関係が構築できること」や「高校生の考え方が分かった」が上位を占めた。

⇩

令和7年度

上位に、「高校生と地域との関係を築くことができた」

- **地域社会への理解の深まり**
- **地域企業への知識を深め、地元での進路を選択する機会が広がる**

令和７年度　産業系高校フューチャープロジェクト取組状況

11月第２土曜日は やまがた教育の日	連携協議会長	地域、企業、大学等との連携	小、中学校等との連携	学校の魅力発信	令和６年度主な取組
1 山形工業	山形大学理学部教授 栗山　恭直　氏	・蔵王温泉イノベーション計画（蔵王関連アプリ、キーホルダー製作、期間限定ミニ四駆体験ブースの設置） ・山形大学と連携した「リアルメタバース研究所」	・小中学生対象「ものづくり体験教室」 ・小学校への出前授業（山形市・天童市） ・小中学生対象「プログラミング教室」	・学校説明会の充実（全面広告等） ・ホームページやSNS等を活用した情報発信、CMの制作や各種メディア活用	・地域企業62社の協力を受けて、４ページの全面広告 ・学校見学会706名、体験教室約300名
2 上山明新館	上山市　副市長 鈴木　英夫　氏	・明新館夢未来計画と称し、プロジェクト学習、普通科の総合的な探究の時間等における活動を支援 ・地元食材を使用した人気スイーツの開発	・放課後児童教室における花育教室を実施 ・探究学習の成果等について、市教委と連携し、小中学校の教育活動に還元する。	・学校公開日、部活動体験会、中学生一日体験入学、個別相談会の拡充 ・学校PVの制作、HPやインスタの活用	・エディブルフラワーの栽培や分析 ・デジタルプロモーションとＳＮＳ等を活用した発信
3 山辺	飛塚塗装 代表取締役 飛塚　武　氏	・高齢者対象「ふくしかカフェ」の実施 ・町政70周年記念行事にて商品販売・まるごとフェスティバル参加	・中学校訪問とＰＲ活動 ・小中学校、特別支援学校との交流 ・中学校や専門高校とのコラボ企画	・オープンスクールで充実した実践活動を通して本校の魅力を実感してもらう ・生徒会を中心としたSNSによる発信	・高校生レストランの定期開催化 ・うまいっしょ甲子園全国大会出場、料理コンテストで全国優秀賞
4 寒河江工業	那須電機株式会社 代表取締役 那須　重義　氏	・産学連携による海ごみ回収ロボットの研究 ・寒河江市商工会青年部との連携 ・寒河江市次世代子育てステーションとの連携	・発明クラブとの連携（学校祭見学） ・寒河江市立小学校でのものづくり教室 ・学校チラシの中学３年生教室への配付	・学校インスタグラムの充実 ・街かどテレビによる学校広告放映 ・学校チラシ作成と配付	・地域向け新校舎見学会約200名、市内中学３年生向け見学会約120名参加 ・発明クラブとの連携
5 村山産業	（株）otias代表取締役社長 齋藤　伸治　氏	・農工連携カーボンニュートラルチャレンジ ・全日本製造業コマ大戦むらさん場所の開催 ・地域と連携したPR活動、外部人材の活用	・中学生、保護者向け学校説明会の充実 ・入学者の動向調査の実施と分析	・広報活動レベルアッププロジェクトにより、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ，ＨＰ等の刷新 ・地元地域ＰＲ活動に関する地域との連携	・村山市、企業等と連携し、村山市PR動画を制作 ・複合施設に高校のブースを設置
6 新庄神室	（株）山形メタル 代表取締役 庄司　正人　氏	・行政、企業と連携したスマート農業、商品開発学習 ・地域人材育成に向けた行政、産業界、大学教授等の各種講演会の実施	・小中連携事業（公開講座及び出前授業等の体験活動）の実施、充実	・PRポスター、ノベルティグッズの製作 ・HP、X、Instagramなどによるタイムリーな情報発信	・ミチノクヒメユリに関する研究 ・公開講座および出前授業のなどの体験活動の実施

11月第２土曜日は やまがた教育の日	連携協議会長	地域企業、大学等との連携・共同研究	小、中学校等との連携	学校の魅力発信	令和６年度主な取組
7　米沢鶴城	山形大学工学部副学部長 野々村 美宗　氏	・米沢市と連携したゼロエミッションの実施 ・大学や自治体、企業等と連携した探究学習 ・工業、商業の研究活動の推進	・ものづくり教室や防災・減災の学習を通した学校間交流の実施 ・暑さを考慮し、夏休み以外の説明会開催	・HP、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、ﾉﾍﾞﾙﾃｨの有効活用 ・生徒会を巻き込んだInstagramなどのSNSの有効活用	・小中学校出前授業、学校説明会参加者延べ414名 ・閉校記念品販売
8　置賜農業	体育文化後援会長・川西町議会議員 鈴木　孝之　氏	・産官学連携による地域農業課題解決学習の充実 ・専門職大、農林大学校、先進農家訪問研修 ・地域人材を活用した農業学習の充実	・地区全ての中学3年への広報活動の実施 ・小中学生を対象とした「いのち」を学ぶ出前授業、体験学習の実施	・植花活動を通した地域と学校を結ぶ活動（おせっかいな花屋さんプロジェクト）	・スクールビュー導入によるHPのリニューアル ・ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰを活用したダリア生産
9　長井工業	体育文化後援会長・(株)ﾗｲﾌｽﾃｰｼｮﾝ代表取締役　高石一夫　氏	・農業生産の工業化（複数企業との共同研究） ・地域企業研修の実施（午前：企業見学、午後：パネルディスカッション）	・白鷹、長井中学生対象の説明会・見学会 ・全校課題研究発表会に長井市内中学2年生、徐元企業関係者等を招待（長井市民会館）	・SNS等の充実（Instagram開設） ・県外生受入れに向けた諸活動	・小中学生への体験学習会後のｱﾝｹｰﾄでは、工業への興味向上が81% ・研究発表会を中学生も招き開催
１０　鶴岡工業	（株）東北ハム代表取締役社長 帯谷　伸一　氏	・「新たな産業を創ろう」起業家精神プロジェクト ・「工業を活かして地域貢献しよう」プロジェクト ・鶴工メタバースチャレンジ塾　地元鶴岡の魅力発信	・体験入学、部活動見学会の充実 （課題研究等の研究成果の積極的な発信）	・HPやﾏｽﾒﾃﾞｨｱ活用の情報発信 ・受検者増を狙った学校紹介制作	・探究学習の地域連携が一層推進 ・本校舎をモチーフにしメタバース空間の制作
１１　加茂水産	山形県水産研究所長 本登　　涉　氏	・地域海洋水産に関連する課題解決研究の地域連携（カキ養殖、低利用魚、藻場造成法、加茂水族館） ・各系列ごとの産業教育魅力企画バスツアーの実施	・生徒による中学校訪問、説明会の実施 ・実習内容や乗船体験を踏まえた体験活動を実施	・県外生バスツアー受入れ ・公式SNSの活用やメディアをはじめ、様々な機会をとらえ、本校の魅力を情報発信	・地元のイベントや大会に参加 ・体験活動、学校見学の受け入れ ・鳥海丸体験航海・他
１２　庄内農業	庄内農業高校同窓会長 齋藤　　隆　氏	・地域飲食店と連携した「庄農うどん大作戦」 ・山大農、地域産業高校と連携した共同研究（ｱｲｶﾞﾓﾛﾎﾞｯﾄ、加工品試食会の開催等）	・体験入学、オープンキャンパスの充実 ・幼稚園との連携（田植えとロボットかるがも農法体験）	・３本目のﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝﾋﾞﾃﾞｵ制作 ・HPやSNS等の効果的な活用（生徒と教員の協働による情報発信）	・山大農学部との連携強化（ｽﾏｰﾄﾃﾛﾜｰﾙ事業、ｱﾒﾘｶﾐｽﾞｱﾌﾞの研究） ・専門家と連携した学校PRPVの制作
１３　酒田光陵	学校運営協議会会長 守屋　裕孝　氏	・酒田アート船箪笥制作の継続と公開 ・学校紹介の動画制作と公開 ・飛島保全プロジェクト	・入学者選抜要項説明会（中学校教員対象） ・小学校出前授業「建設業の役割を豪雨災害から学ぶ	・学校紹介動画制作 ・SNS等効果的な情報発信の在り方の研究	・YouTuberとのｺﾗﾎﾞPV ・小学生学校訪問…8校 ・酒田船箪笥プロジェクト：完成

5　今後について

やまがた教育パートナーズ

（教育支援パートナーシップ推進事業）

教育支援活動に興味がある！

子どもたちの体験を充実させたい！

社会貢献したい！

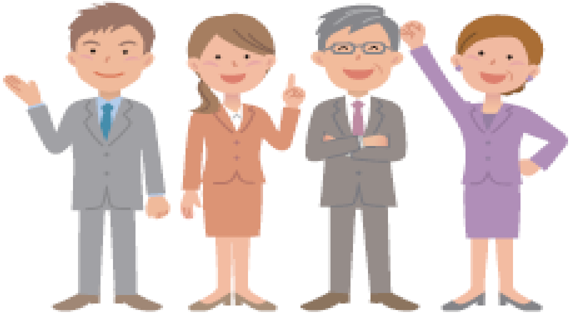
パートナーとなる
企業・事業所・団体等

企業・事業所・公共機関・大学・各種専門学校・ＮＰＯ団体

大募集!!

（県域の活動だけではなく、**地域に根ざした活動の登録**でも大歓迎です）

パートナーになったら…



① ロゴマークを使用できる！

企業・団体等のホームページや名刺に掲載して、ＰＲできます！

② 県のホームページやポータルサイトでＰＲできる！

県ホームページやポータルサイトにパートナー企業・団体等の名称を掲載します！

③ 教育イベント等の周知ができる！

県ホームページ等にイベント等のお知らせを掲載します！

パートナーの皆様に協力いただきたいこと

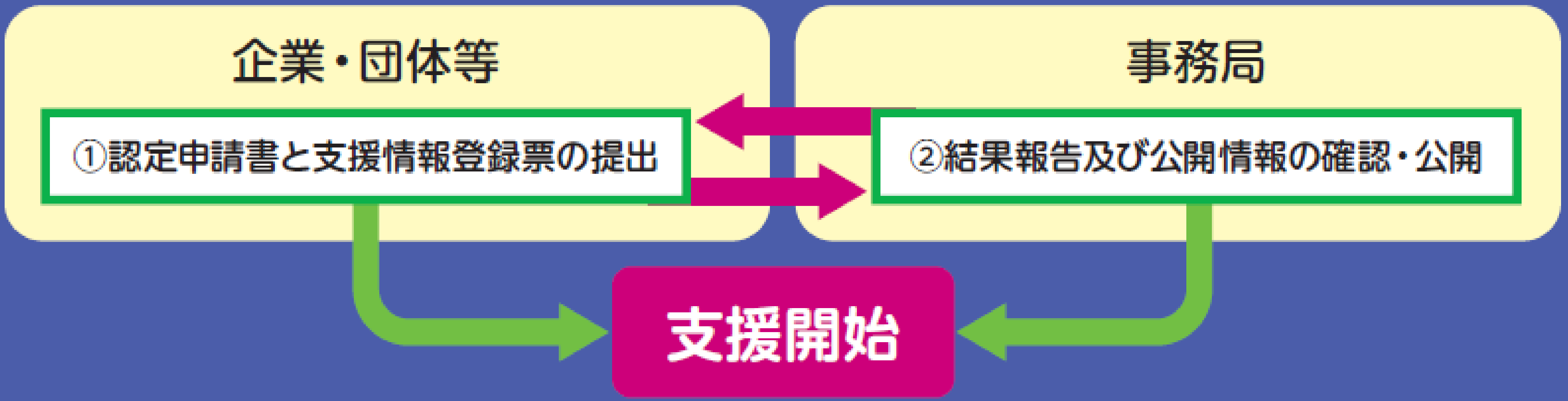
学校等（幼稚園～高等学校、特別支援学校、公民館・コミュニティセンター、社会教育施設、図書館、子ども会育成会等）に対して

- **企業見学**
- **就業体験**
- **探究学習支援**
- **講師、指導者の派遣（出前授業、講演会講師等）**
- **施設や物品の貸出**

この中から、１つ以上を原則無償でご協力いただきます

（必要経費等がある場合は、学校等と直接交渉していただくこともできます）

パートナーになるために…



・アップロード作業完了の報告及び**認定証(額付)**をお送りします。
また、**ロゴマーク**(画像データ)もお送りしますので、ホームページや名刺等でＰＲできます。

詳細情報・申込・問合せはこちら

やまがた教育パートナーズ事務局（山形県教育局生涯教育・学習振興課内）
Ｈ　Ｐ：https://www.pref.yamagata.jp/700015/kyoiku_partners.html
住　所：〒990-8570　山形県山形市松波二丁目8の1
ＴＥＬ：023－630－3344　　ＦＡＸ：023－630－2874
Mail：kyoiku-partners@pref.yamagata.jp

県HPへのリンクはこちら

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

やまがた
教育パートナーズ
YAMAGATA EDUCATION PARTNERS

ご清聴いただき、ありがとうございました。
この後は、山形県立村山産業高等学校の事例について発表します。

発表資料

令和７年度マイスター・ハイスクール事業及び マイスター・ハイスクール普及促進事業成果発表会

令和８年１月３０日(金)

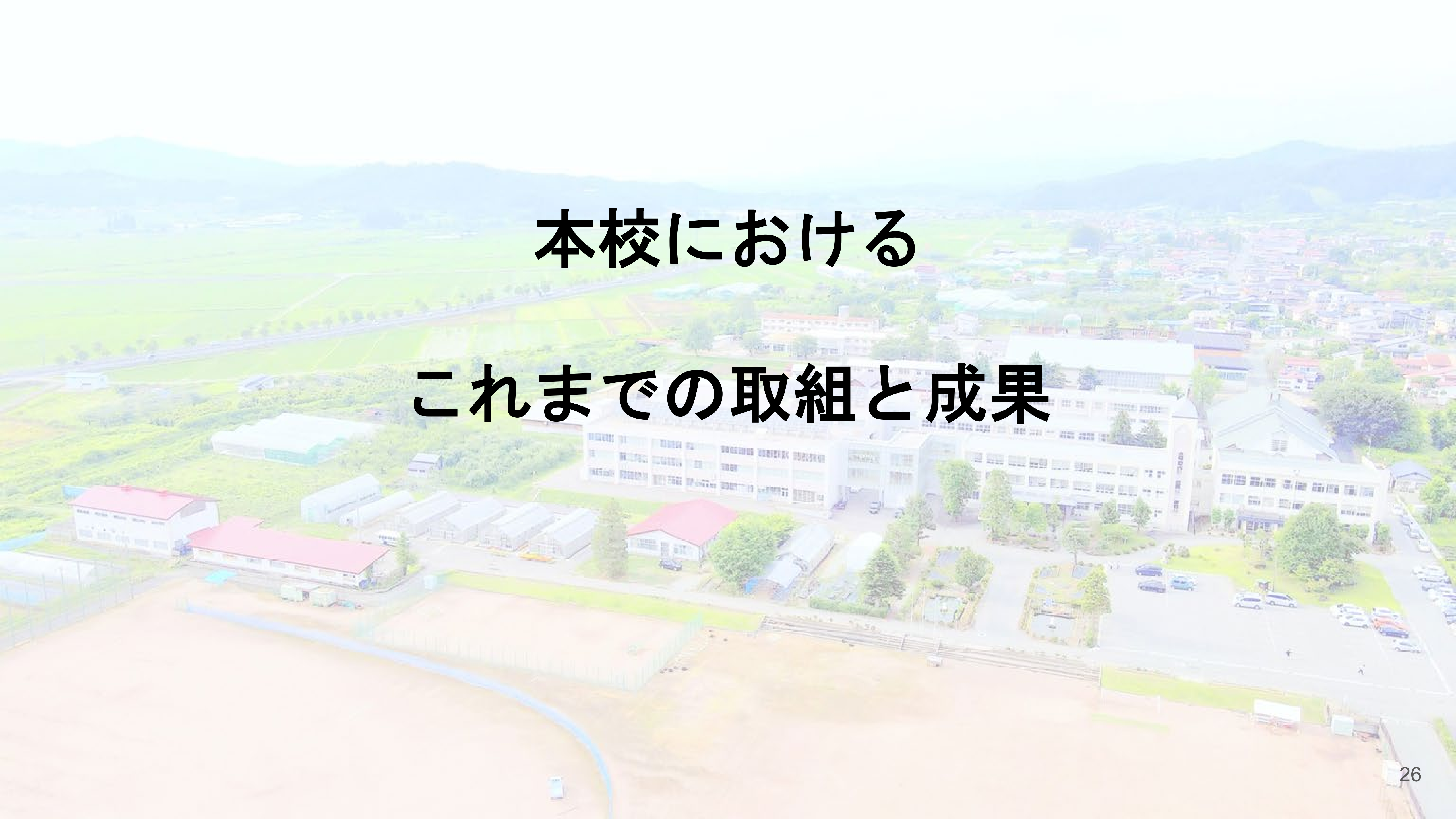
山形県立村山産業高等学校

山形県立村山産業高等学校における
「魅力ある県立高校づくり推進事業～フューチャープロジェクトの取組～」

　本県では、令和５年度から、全ての県立産業系高校（14校）に、自治体・産業界・大学等で構成する協議会（コンソーシアム）を設置して、地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や地域産業界との連携・協働による特色化・魅力化に取り組んできた。

　本校は、平成26年度に農業・工業・商業の三学科を設置する産業系高校として創立以来、地域を学びのフィールドにして、自治体・産業界・高等教育機関等との連携を重視した教育活動に取り組んできたが、「フーチャープロジェクト事業」への取り組みの成果として、本校の自治体・産業界・高等教育機関と連携した活動は、質量ともに一層の充実が図られており、本校が目指す「社会に開かれた教育課程の充実」や「特色化・魅力化の推進」にとっては、大きな貢献を果たしているといえる。

　これまでの成果や課題を整理しながら、今後の展望についてまとめてみたい。



本校における
これまでの取組と成果

連携（協定締結）の推進

自治体・産業界との連携協定

・村山市(R5.9月)
・㈱三和測量技術コンサルタント(R7.5月)
・㈱Vantech(R7.9月)
・㈱アスク ㈱六歌仙(R712月) etc.

連携(協定締結)の推進

高等教育機関（大学等）との連携協定

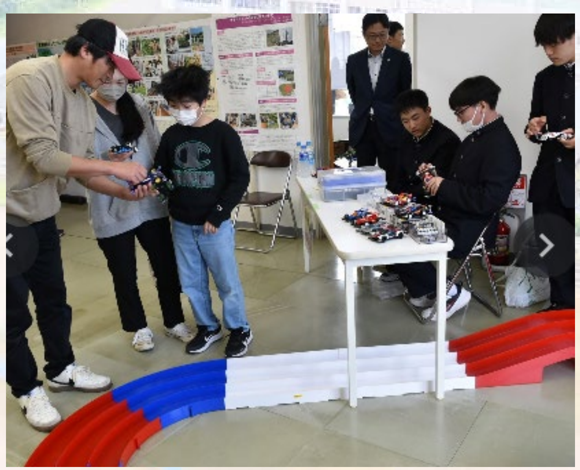
- 東北農林専門職大学(R6.9月)
- 〃　附属農林大学校
- 山形大学農学部(R7.7月)

※農学および農業教育の発展や、高校生の進学意識の醸成を目的に協定

各学科の取組（活動紹介）

サテライト施設　楯岡商店街「Sun+nane」の設置【全学科連携】

- 三和技術コンサルタントよりSun+naneにスペースの提供を受ける。
- 交流イベントなどを実施
- 無人販売機を山本製作所および不二工業より寄贈。野菜販売に活用。



各学科の取組（活動紹介）

各種研究発表会での成果【農業科】

- 地域課題の解決を目指して、大学等との連携を活かした研究活動の成果が顕著となっている。
- 国外（シンガポール）研究大会への出場権を得る等、活動の内容が向上している。
- 英語でのプレゼンテーションや質疑応答等、国内外の生徒との交流が広がっている。

各学科の取組(活動紹介)

「花ひかりプロジェクト」酒米栽培・醸造(六歌仙)ノベルティ作成【全学科連携】

純米吟醸 花ひかり　とは

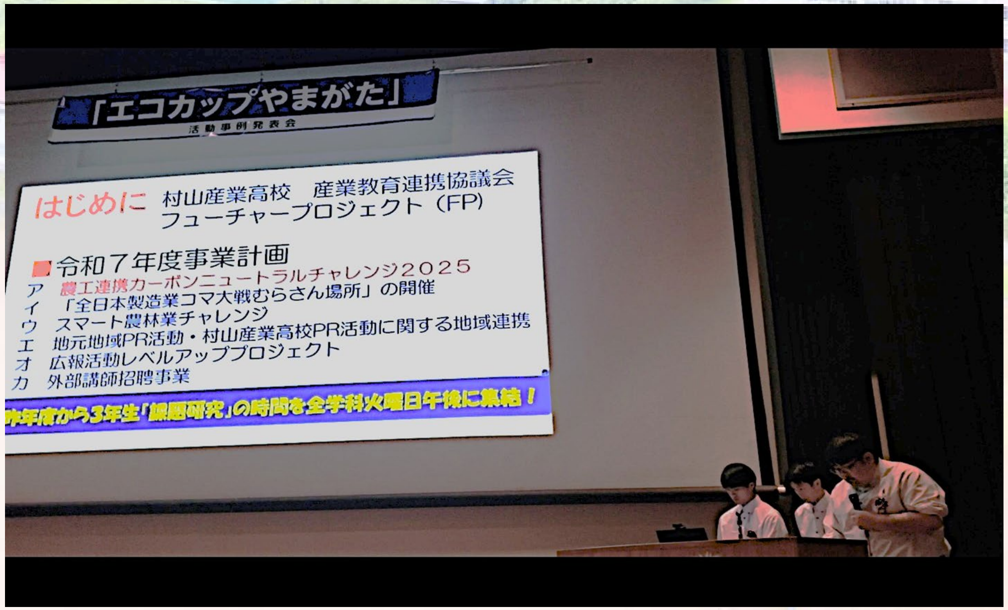
地元の高校、村山産業高等学校とコラボレーションして誕生した商品です。
商品名は校歌の一節にある「花を大地に、光を未来へ」から由来して付けられました。

本校の前身村山農業高校が開発した酒米「山酒4号」【山田錦】x【金門錦】を、(株)六歌仙が心を込めて醸造して完成する吟醸酒。酒米の育成を農業科、ラベルデザインを商業科、ノベルティの作成を工業科で行った、まさに本校の生徒全員で連携・協力して作りあげられたお酒です。

各学科の取組（活動紹介）

再生可能エネルギーの活用、普及への取り組み【農工連携】「光・フューチャープロジェクト」

- 農業における太陽光発電の活用についてエコカップやまがたで発表し、入賞。
- 山形県のカーボンニュートラル大使に認定された。



各学科の取組（活動紹介）

全日本コマ大戦ムラサン場所の開催【工業科】

・「コマ大戦」は全国の中小製造業が作成したコマを持ち寄り、土俵上で一対一で戦い、技術を競い合うイベント。本校ではフューチャープロジェクトの一環として行い、ものづくりに対する興味・関心の育成、地元企業との連携、地域住民へのPR等を目的に開催。

各学科の取組（活動紹介）

地域自治体や産業界との各種連携事業【商業科】

- ・村山市の観光検定「むらやマスター検定」を製作。
- ・地域商店街と連携した企画や商品等の開発および販売等。

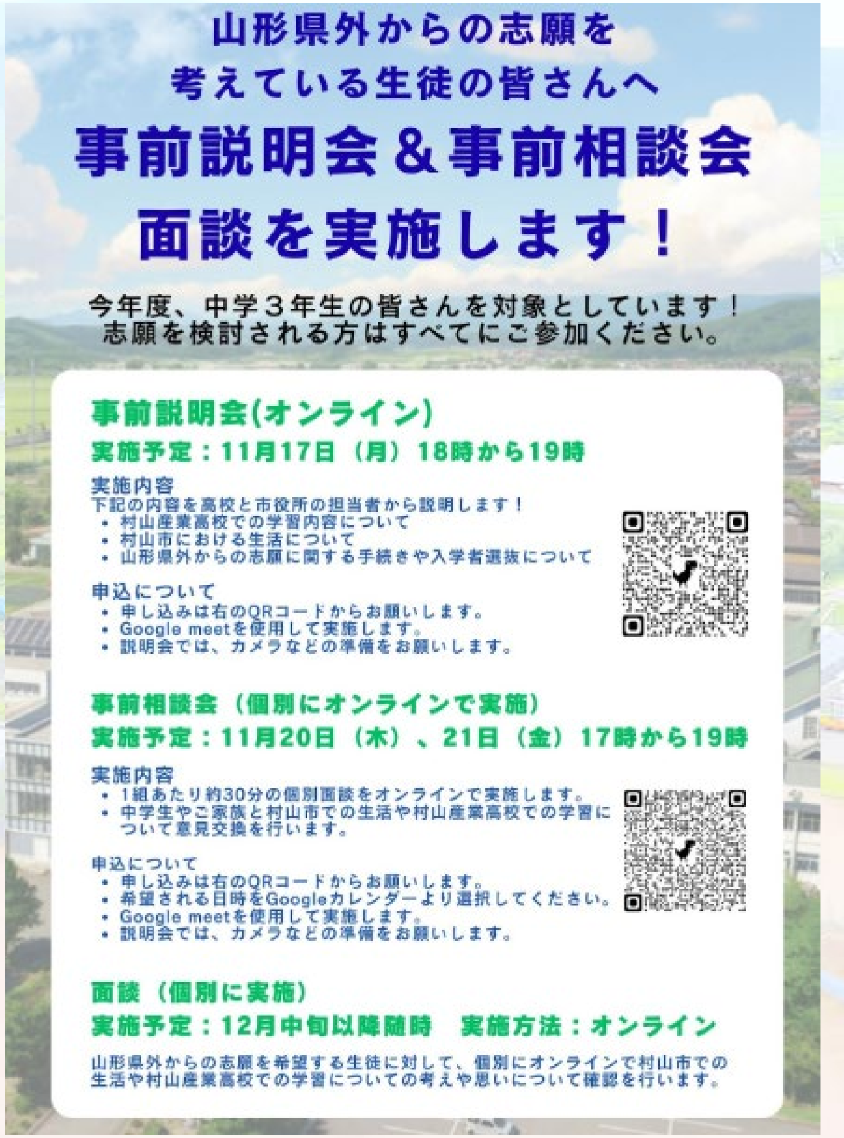
志願者確保への取組（活動紹介）

中学生向け学校説明会の開催

- 授業見学やオープン･スクール（説明会）の開催。
- ナイト･オープン･スクールを開催して、保護者等も参加しやすい説明会を実施。

志願者確保への取組（活動紹介）

地域みらい留学（県外志願者募集活動）


山形県外からの志願を
考えている生徒の皆さんへ
事前説明会＆事前相談会
面談を実施します！

今年度、中学３年生の皆さんを対象としています！
志願を検討される方はすべてにご参加ください。

事前説明会(オンライン)
実施予定：11月17日（月）18時から19時

実施内容
下記の内容を高校と市役所の担当者から説明します！
- 村山産業高校での学習内容について
- 村山市における生活について
- 山形県外からの志願に関する手続きや入学者選抜について

申込について
- 申し込みは右のQRコードからお願いします。
- Google meetを使用して実施します。
- 説明会では、カメラなどの準備をお願いします。

事前相談会（個別にオンラインで実施）
実施予定：11月20日（木）、21日（金）17時から19時

実施内容
- 1組あたり約30分の個別面談をオンラインで実施します。
- 中学生やご家族と村山市での生活や村山産業高校での学習について意見交換を行います。

申込について
- 申し込みは右のQRコードからお願いします。
- 希望される日時をGoogleカレンダーより選択してください。
- Google meetを使用して実施します。
- 説明会では、カメラなどの準備をお願いします。

面談（個別に実施）
実施予定：12月中旬以降随時　実施方法：オンライン

山形県外からの志願を希望する生徒に対して、個別にオンラインで村山市での生活や村山産業高校での学習についての考えや思いについて確認を行います。

- ･自治体の理解と協力を得て、「地域みらい留学」募集活動に参加。
- ･本県の県外志願者募集事業を活用した「県外志願者向けバスツアー」の受け入れや、校内のイベント（マルシェや学校祭等）における説明会の実施。

まとめ

課題と今後の展望

【課題】

令和５年度にスタートした本県の「フーチャープロジェクト事業」は、本年度が事業の最終年度となっている。次年度以降は各校で自走による事業展開が予定されているが、本校としては、これまでの事業における成果を踏まえながら、本校の特色化や魅力化を一層推進していくためにも、「継続」が必要な事業であると認識している。次年度以降も、予算面での支援が得られることを期待している。

【展望】

産業系高校では、志願者が定員を満たさない状況が数多くみられる。今後も生徒数の減少が続く状況は明らかではあるが、一人でも多く志願者を確保していけるように、各種広報活動の充実に努めていかなければならない。